



子ども医療費無料化北海道ネット 通信

2017年 8月15日(火)No.1 電話011-721-2008
子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク

北海道の遅れた子ども医療費助成制度 せめて中学卒業まで無料に



7月22日東区民センターで「子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク」結成集会が開催され、54人が参加しました。

呼びかけ人を代表して、内田信也弁護士が開会のあいさつをしました。

特別報告として大澤真平札幌学院大学准教授が「北海道の子どもの現状(背景)を考える」として、北海道子ども生活実態調査の概要を説明。収入が101~200万円以下ではこどもの受診をさせなかったことがある世帯が42.5%、保護者の受診では54.7%もあり、子ども医療費無料化で親の受診も増えることが期待されると紹介。

中学校養護教諭は「小中学生の実態と保護者とのかかわり」について報告。家には体温計や絆創膏もない家があること、子どもも家計を案じて病院へなかなか行かないことが紹介されました。

リレートークでは、○2人の子供を持つ世帯の医療費負担、○小児科の診療所で生活困窮世帯の受診抑制の実態、○保育現場で見える心配な親子の実態、○子ども医療費助成拡大の署名運動の中で、今年10月から中学生までの医療費助成への拡大(条件・制限あり)が実現した余市町の例、が報告されました。



知事あてに10万筆の署名を

【結成集会で確認した内容】

- ★知事あての署名「中学校卒業までの通院・入院の子ども医療費を無料(現物給付)にしてください」の取組み
目標10万筆 最終集約2018年2月
道内各自治体の首長へ賛同署名を送る
- ★道議会へ請願提出~9月議会
- ★国や各自治体へ制度の拡充を求めています
- ★広範な個人・団体に下記への参加を呼びかける
今後の予定
- 9月2日宣伝署名行動(右参照)
- 11月12日「国の責任で医療・介護を求める集会」エルプラザ

<宣伝行動>

北海道の子ども医療費無料化を、中学卒業まで拡充を!

9月2日(土)

12:30~13:00

札幌パルコ前